



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和4年 弥生 24日

第30号

校長 矢野 晴一

学校教育目標：「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

「ありがとうございました！」 この一年のお礼

本日、令和3年度「修了式」を迎えるにあたり、保護者のみなさま、地域のみなさま、関係各位に対し、衷心よりお礼申し上げます。制限された状況の中ではありましたが、みなさまの大原中学校に対する「温かいまなざし」「ご協力・ご支援」のおかげで、なんとか無事にさまざまな教育活動を展開させていただくことができました。

本年度の教育内容をきちんと総括し、令和4年度につなげていきたいと考えております。来年度も、変わらぬご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

「仲間との思い出づくり！」 2年生修学旅行



3月15日（火）、16日（水）の一泊二日の旅程で、2年生が修学旅行に出かけました。延期、日程の短縮、さらには行き先変更と、熟慮・決断を繰り返しながらの実施となりましたが、**なんとか子どもたちの思い出をつくることできて**、胸をなでおろしております。

数々の変更はありましたが、決して変わらないものがあります。それは、子どもたち自身で考えて決めたスローガンです。「**「輪」を広げて「和」を感じよう ～この時間と日常に感謝して～**」というスローガンには、【①**仲間との輪を深めたい** ②**集団の力を高めて成長したい** ③**あたりまえに感謝し一日一日を大切にしたい**】という思いがこめられています。

各係の目標をみても、「**班長…声かけをして規則を守った行動を心がけよう** 学習…**感染対策を徹底し、学べる環境をつくろう** 生活…**周りを見て確認と指導をしっかりとしよう** 食事…**感染対策を徹底し、ルールやマナーを守った楽しい食事をしよう** 保健…**安心安全な修学旅行を過ごそう**」と、みんなが**楽しくするために、安全を優先し、ルールやマナーを守っていかなければならない**という決意が感じられる旅になったと感じています。

帰ってきた子どもたちは、みんなはじけるような笑顔で、**仲間とのかけがえのない時間**を過ごすことができたと感じております。

「さあ、次年度に向けての決意を！」 令和3年度修了式

本日、3月24日（木）、本年度の修了式を行いました。今日で令和3年度が終わりを告げます。

誇りをもち、前を向いて巣立っていった3年生にかわって、1、2年生の子どもたちが大原中学校の「**リーダー**」として、また、「**中堅学年**」として歩み始めるときがやってきました。2年生には、これまでの取組で培ってきた「**集団の力**」を存分に発揮し、学校の柱となってもらいたいと願っています。1年生は、もうすぐ呼ばれる「**先輩**」として「**互いを励まし合い、支え合う力**」を高め、中堅学年として活躍してもらいたいと願っています。

来年度も、「**積小為大**」の言葉を胸に刻み、「**つながり**」を大事にしながら、子どもたちとともに充実した令和4年度の大原中学校をつくっていききたいと思います。



「伝えたい思い・・・！」卒業生から在校生へのメッセージ【対談】

3月7日（月）、放課後に、巣立ちゆく日を間近にひかえた3年生の生徒会役員3名に集ってもらい、対談を行いました。

「繫」をつくりあげるために奮闘努力してくれた令和3年度の生徒会の**リーダーたちの思い**を、次の三つの観点から尋ねてみました。

★「中学三年間で心に残っていることは？」

【さん】副会長として臨んだ「春のリーダー研修会」です。なかなか前に進めることができず苦勞しましたが、「繫」というスローガン**決定の瞬間の達成感**は忘れられません。

【さん】1年生のときの「ふれあい合宿」が心に残っています。入学して間もない頃、とても不安だったのですが、**仲間と協力してがんばり抜いた経験と学びが現在の自分自身をつくってくれた**と感じています。

【さん】1年生のときの二大行事が強烈に印象に残っています。先輩方が自分たちでプロジェクトを企画して実行していた姿に圧倒されました。そのとき抱いた**あこがれが、自分の中学校生活の目標**となりました。

★「生徒会に対して、こんなふうにするともっとよくなると思うことは？」

【さん】話し合い等を行っているときに、自分の意見を頑張ってちゃんと伝え合うことです。「これ、言って大丈夫かな」や「これを言ったらみんなにどう思われるかな」と、躊躇（ちゅうちょ）して、沈黙の時間が生まれてしまうのはよくないと思います。**仲間を信じて、勇気をもって自分たちの意見をたくさん出し合っ**て、さまざまなことを乗り越えていってほしいと願っています。

★「後輩たちへのメッセージ！」

【さん】何事も、努力することで自分の目標に近づいていくのだと思います。難しいことや課題というものは、誰しもあることだと思うので、**あきらめずに仲間とともに支え合いながら努力を重ねてほしい**と思います。

【さん】そばに仲間がいることを忘れないでほしいということです。私自身、数えきれないくらい挫折して心が折れそうになりましたが、いつも友だちが支えてくれました。だから、一人で抱えこむのではなく、**仲間を信じて、協力しながら前に進んでほしい**と思います。

【さん】まずは、私たちは、これまで「答えがみえない問題」に何度もおしつぶされそうになりながら挑戦を続けてきたような気がします。だから、何事にもおそれずに挑戦してほしいと思います。**仲間といっしょに考えることで、さまざまな道を探し続けてほしい**と思います。

※3人のコメントは、「努力」「信頼」「勇気」という三つの言葉で表すことができるように思います。共通しているのは、すべて「**仲間とともに**」ということでした。まさにスローガン「繫」で一貫していました。

先輩からのメッセージ、確かに受けとめました。ありがとうございました！

小さいけれど大きな感動・・・その30 「入試の日の朝に・・・！」

3月8日（火）は、福岡県公立高等学校の入試の日でした。私がいつものように朝校門であいさつを行っている時、地域の方がそばによってこられて声をかけられました。

「校長先生、今日入試やろ。頑張ってくださいね。いい結果になるごと祈っとりますばい・・・」と。

私は、朝陽に向かって子どもたちの健闘を祈りながら、とてもすがすがしい気持ちになりました。

思わぬ声かけでしたが、感動で胸がいっぱいになりました。



今年が一番桜は3月16日でした。

舞い踊る 桜の花びら 愛でながら
はばたく子らの 健闘祈る 晴一